

この添付文書は、お薬とともに保管し、
服用の際には、必ずお読み下さい。

【生薬主薬保健薬】

パナパール錠

第3類医薬品

- ◆ パナパール錠は、虚弱体質・肉体疲労・病中病後・胃腸虚弱・食欲不振・血色不良・冷え症などの症状を改善し、発育期の体調を整え、滋養強壮のために考え出された生薬製剤です。
- ◆ パナパール錠中のトウキ・シャクヤク・センキュウ・ジオウ・ケイヒが血行の乱れを整え、血色不良・冷え症を改善し、ニンジン・ビャクジュツ・ブクリョウ・カンゾウ・牛胆は弱った胃腸の働きを盛んにし、ニンジン・オウギ・加工大蒜・サンヤク・ハンビは滋養強壮の働きをします。

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (4) 高齢者。
 - (5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
ひ ふ 皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 下痢
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 他の医薬品等を併用する場合には、含有成分の重複に注意する必要があるので、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

次の場合の滋養強壮：虚弱体質、肉体疲労、病中病後、胃腸虚弱、食欲不振、血色不良、冷え症、発育期

用法・用量

次の量を食後に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
大 人	3錠	3回
11歳以上15歳未満	2錠	
11歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分・分量

本剤9錠(2.7g)中

オウギエキス末……………	20mg	カンゾウエキス末……………	50mg
ケイヒエキス末……………	50mg	ジオウエキス末……………	100mg
シャクヤクエキス末……………	50mg	センキュウエキス末……………	100mg
トウキエキス末……………	100mg	ニンジンエキス末……………	300mg
ジャクジュツエキス末……………	50mg	ブクリョウ末……………	150mg
サンヤク末……………	500mg	加工大蒜……………	100mg
牛胆エキス末……………	50mg	ハシビ末……………	180mg

添加物として軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロースを含有する。

- ・本剤は淡褐色で、特異なにおいを有し、味はわずかに苦い素錠です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

薬と養生

バナパール錠は生薬の特性を活かした生薬製剤ですので、あなたの体質や病状を考慮して正しく服用することが大切です。

また、気持ちの持ち方(気の養生)や食生活(食の養生)に注意することも、病気を治すためには大切なことです。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、生薬製剤や養生方法のことをご理解いただいている医師やホノミ漢方会々員の薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剤盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剤盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号